

インプラント治療における新人歯科衛生士の教育 New employee education in implant treatment



Mizuki Endo
遠藤 瑞季

医療法人社団翔舞会 エムズ総合歯科クリニック

【演題趣旨】

インプラント治療は歯周病や事故などによる歯の喪失に対し、患者の生活の質（QOL）を向上させる有効な治療法です。その成功には、歯科衛生士が重要な役割を果たします。しかしながら、最近の傾向として、コロナ下での学生生活の結果、オンライン授業や実習の不足により、新人歯科衛生士に不安や自信の欠如が見られます。当法人では長年に渡り3年間の研修プログラムを提供し、新人歯科衛生士の成長をサポートしてきましたが、本研究では新たに文献調査、アンケート、インタビューを行い、新人歯科衛生士のインプラント治療に関する教育について検討しました。

【演題のポイント】

文献調査から、インプラント治療には歯科衛生士の専門知識と技術が必要であることが明らかになりました。アンケート調査では、多くの歯科衛生士がインプラント治療に関する知識や技術を身につけたいと考えていることが分かりました。また、インタビュー調査から、教育にはインプラント治療の概要や術前・術中・術後のケアに関する内容が重要であることが示されました。ただし、インプラント認定歯科衛生士の資格取得条件についての理解が不十分な点も浮き彫りとなりました。

本演題では、調査結果から判明した歯科衛生士がインプラント治療に必要な知識や技術を習得するために重要と考える以下3点についてを解説します。

- ・基本的な知識から始まり、術前・術中・術後のケアまで包括した教育
- ・講義、実習、OJT などを通じた多様な教育手法を用いた適切なサポートの提供
- ・インプラント認定歯科衛生士の資格取得に積極的に取り組める環境整備

【演題の目的】

インプラント治療の成功に必要不可欠である歯科衛生士が、新人時代からの充実した教育プログラムの実施により、高品質な治療を提供でき、患者の健康意識を向上させる一助となれる可能性を知って頂きたい。

【略歴】

- 2020年 日本大学歯学部歯科衛生専門学校卒業
- 同年 エムズ総合歯科クリニック勤務
- 2022年 エムズ歯科クリニックチーフ
- 現在に至る